

一部非公開

令和7年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の課題文を読んで、問1と問2に答えなさい。

問1 下線部について、筆者が挙げている事例以外であなたが考える具体的事例を補足しながら、さらに詳しく400字以内で説明せよ。

問2 民主主義体制において国内世論は外交政策にどの程度影響を及ぼすのか。この事について、課題文の内容も踏まえながら、あなた自身の見解を600字以上800字以内で論述せよ。

非公開

非公開

非公開

（片桐梓「政府は国内世論を重視して外交政策を判断しているのか？—長年の研究を経て未だに『難問』」、「WEB アステイオン」 powered by 『ニューズウィーク日本版』、2023 年 4 月 19 日付け、抜粋・一部改変）<https://www.newsweekjapan.jp/asteion/2023/04/100.php>

令和7年度入学試験問題（帰国生徒特別選抜）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文の出題の意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる、現代社会が抱える課題に対する関心・知識、理解力、分析力、他者への説明能力をどの程度持っているかを見ることである。

問1は、課題文が指摘する「情報技術の発達やメディアの多様性と世論の関係」について、日ごろから問題意識を持ち考察しているかどうかを問うている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心を持ち、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているかを問う出題である。

問2は、課題文の内容を踏まえた上で、自分自身の考えを説得的に論じることを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に社会を分析できるかどうかを問う出題となっている。